



園長だより



第4号

新渡戸文化子ども園
平成25年7月11日

「あいさつ」と「お辞儀」

「おはようございます。」と、元気な声で挨拶できるようになった子ども達。こちらが忘れてしまうと、子ども達のほうから「園長先生、おはようございます。」と声をかけてくれる時もあります。目をしっかりと見て挨拶をし、お辞儀の後も目をしっかりと見てお辞儀をしています。一生懸命にお辞儀をし、かわいらしい目を見ると、つつい欧米式にハグをしたくなります。

オーストラリアに住んでいた時に「どうして日本人はお辞儀をするのか？」と、よく聞かれました。私は疑問に思ったことはありませんでした。礼を尽くすにはお辞儀をして挨拶をするものだ物心ついたころから両親や祖母に教えられ、「そういうものだ。」と信じていたからです。今でも鮮明に覚えているのは、お客様がいらっしゃる背中を深く倒しお辞儀する父の後ろ姿です。また、夕飯の買い物に行く際に、ご近所の方にお会いすると「こんにちは。」とあいさつをする母の後ろ姿です。

パンダ組2歳児の子ども達も両手をひざにつけて頭を下げようとしながら「おはようございます。」の挨拶をしています。その姿は、隣で手をつないで一緒にお辞儀をしているご両親にそっくりです。そうですね。親子ですもの。時にはおばあちゃんにも似ています。

親の背中を見て育つ。「どうして挨拶できないの？」ではなく、「おはようございます。」と言い、お辞儀をして見せる。なんでもやって見せてあげる。そんな単純なことがもしかしたら一番の大切な教育なのかもしれませんね。

お休み中も、ご家庭で「おはよう。」の気持ち良い1日のスタートを始められるといいですね。

つぶやき (3歳児こぐまぐみ)

(誕生会で誕生者の5歳児が大きくなったら何になりたいかを大きな声で立派に発表しているのを聞いて)

A男「僕ね、僕ね、僕ね、大きくなったら。。。。」(大きな声で言おうとする)
(前に立っている誕生児の発表の途中だったので、先生に静かに聞くよう促される。でも、やっぱり言いたそうな素振り。)

～～気になり何になりたいのかな？と、帰り際に聞いてみた。～～

「大きくなったら何になりたいの？」

「僕ね、僕ね、大きくなったらことりぐみさんになりたいの。」

同じ学年でも、ことりぐみが月齢が高いことを子どもなりに感じ取り、自分自身の成長への憧れが垣間見れる、とても子供らしい発想で感動しました。



子育て相談 ～子ども園相談室より～



毎日の送り迎えはたいへんです。どうか事故や怪我のないよう休みを過ごし元気に登園してくれるのを待っています。休み中に長時間利用のお子様は、暑さの中の体調管理をしっかりと行い登園させていただければと思います。電車の乗降、徒歩、自転車、車、登降園の安全をしっかりと確保し、子ども達が笑顔で登園し「おはようございます」と元気な姿を見せてくれることを楽しみにしています。どうか登降園の道中の安全をしっかりと確保してあげてくださいね。